

地域環境ジュニアパトロール
活動報告書

グループ名	BOY' S
-------	--------

テーマ	足羽第一中学校校下の昆虫調べ。
-----	-----------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
帰山 武昭	福井市足羽第一中学校	1 年
加川 達也	福井市足羽第一中学校	1 年
小林 孝浩	福井市足羽第一中学校	1 年
武田 直樹	福井市足羽第一中学校	1 年
竹森 政人	福井市足羽第一中学校	1 年
細田 博之	福井市足羽第一中学校	1 年
宮本 春樹	福井市足羽第一中学校	1 年
山崎 淳一	福井市足羽第一中学校	1 年
吉村 真吾	福井市足羽第一中学校	1 年
指導者氏名	伊藤 啓江	教 職 員

1. テーマを選んだ理由

理科の授業で植物について習った。脇三ヶや朝倉遺跡の植物についても、いろいろ学習した。1年では動物について習わないので、僕達で調べたい。その結果をマップで示したい。さらに、今、僕達は何をしなければいけないかを考えたい。

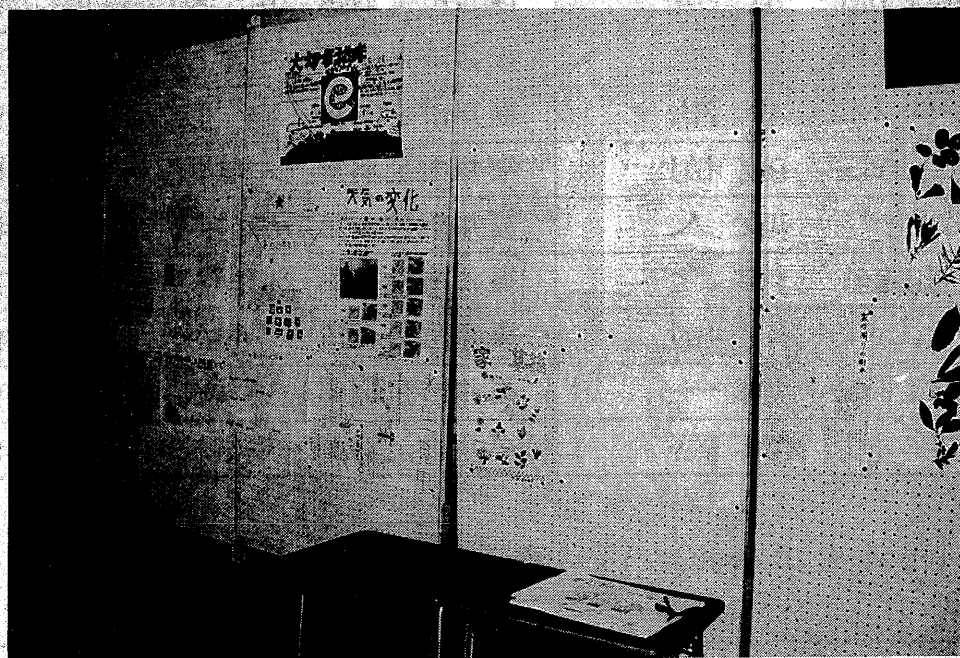
2. 主な活動の記録

【取り組み】

○地域環境パトロールの説明会に代表2名が出席し、活動日、内容を決める。

○地域の環境調べ

①一年生全員に《虫見つけたよカード》を分け、次までに記入してきてもらった。



ホタルの生存を確認した地域



● セミの仲間

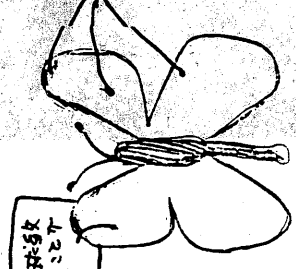
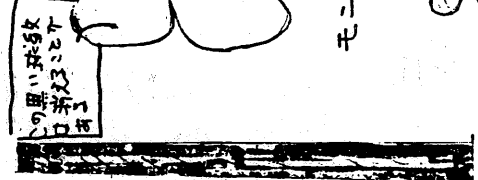
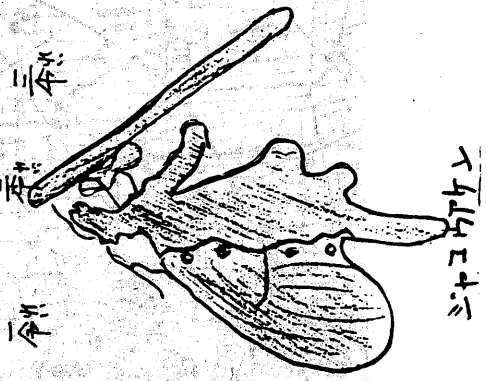
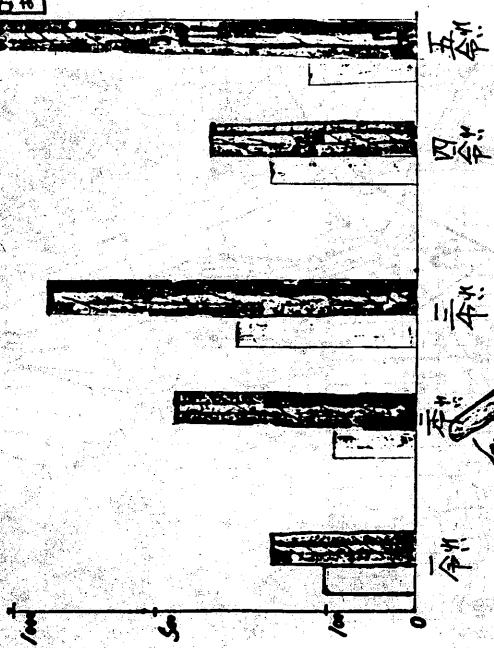
● クワガタ、カブ(ムシ)の仲間



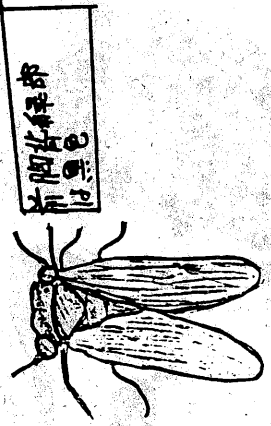
わたしの家の周りの

昆虫 前波町

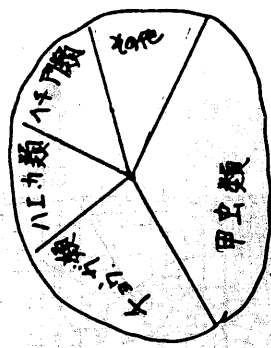
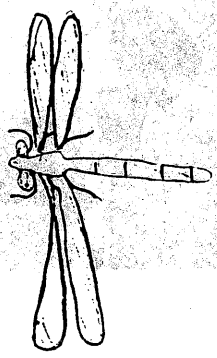
ジャコウアゲハの幼虫の食草量



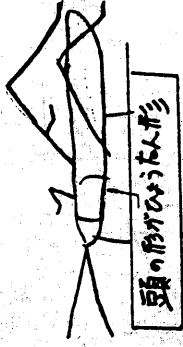
原型とはいれらぬ部が、
と違ひ現れぬ



前脚背線部
は黒色



昆虫名群割合のわりあて



オングハツタ

水の中の生物

トグ

天神橋

透明度 17.6

水生昆虫

トビケラ類

黒いはんぺんがある。



足は三つのふしに分かれている

足は六本 毛がついている

体が10に分かれている

透明な物を体につけている

しほの毛が何本かに分かれている

ヤゴ

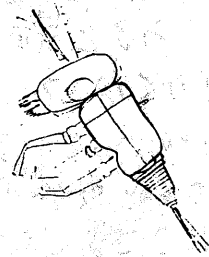
しほが三本 しほが二本

顔がコナロキ、ほい

後頭部が8つに分かれてそのふし

一つに毛

毛がはえていない



- しほが3本
- しほが2本
- カケロウ類に似ている
- 足が六本ある

一乗だき

透明度 51 (あわたちしな)

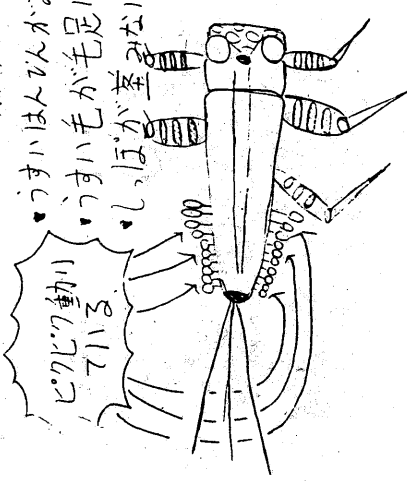
水生昆虫

タニカワカケロウ

足が六本ある

背中に黒い糸線がある

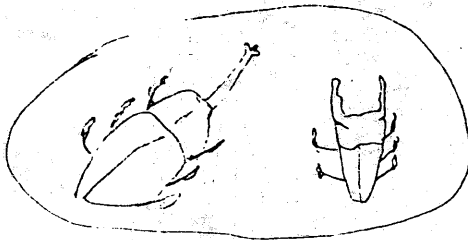
- うすいはんぺんがある
- うすい毛がも足にはえている
- しほが茎みないになっている



環境パトロール

かぶと虫の生息地を調べて

(篠尾町)



ぼくの町内は、かぶと虫がよくい
ただけと少しずつ減っています。去年
けれど、今年はいないところがあり
それは環境の問題だと思い調べて
した。

かぶと虫のいる場所、
山や森のくめぎの木

まとめ

今、ぼくがかぶと虫のことについて
調べたわけは、一度つかまえて行、て
一匹もつかまえず去年よりたぶん
少なくな、たのでおかし、と思、ていま
した。よく考えてみると去年あ、た木が
切られていたりなくな、ていたりして
いる、木がとんとんへ、てい、ることかあり
ます。これではかぶと虫がへ、ていくはあ
る、ぼくにはとま、ることかな、いけれど
少しづつかぶと虫にすめるとは環境
の上、地球をつく、ていくことが大切
だ、と思います。

朝よく樹液のでるくめぎの木にみつをぬ
1時間ずつ見に行きましたその結果

午前8時	くわがた虫 2匹	かぶと虫 0匹
9時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
10時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
11時	くわがた虫 1匹	かぶと虫 0匹
12時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
午後1時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 1匹
2時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
3時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
4時	くわがた虫 2匹	かぶと虫 0匹
5時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
6時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
7時	くわがた虫 0匹	かぶと虫 0匹
次の日	くわがた虫 7匹	かぶと虫 2匹

ということなので、大変に嬉しい。また、今回の生徒達の取り組みに際し、
快くゴミ袋を提供して下さった環境保全課の方々に心より御礼申し上げます。



川の水がきれいな所にしかない

木タル

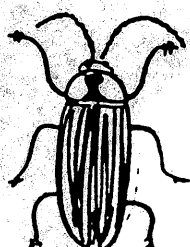
について学びました

木タルの種類



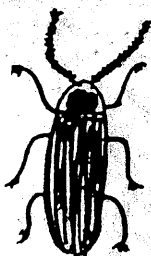
ヒメボタル

・小川や田・池にすみ
・水中のまき貝を食べる



ゲンジボタル

・木のきれいな小川にすみ
・カワナなどのまき貝を食べる



オバボタル

・山間地に多くすみ
・川の土手や水田のあぜの草むらにすみ
・カタツムリを食べる

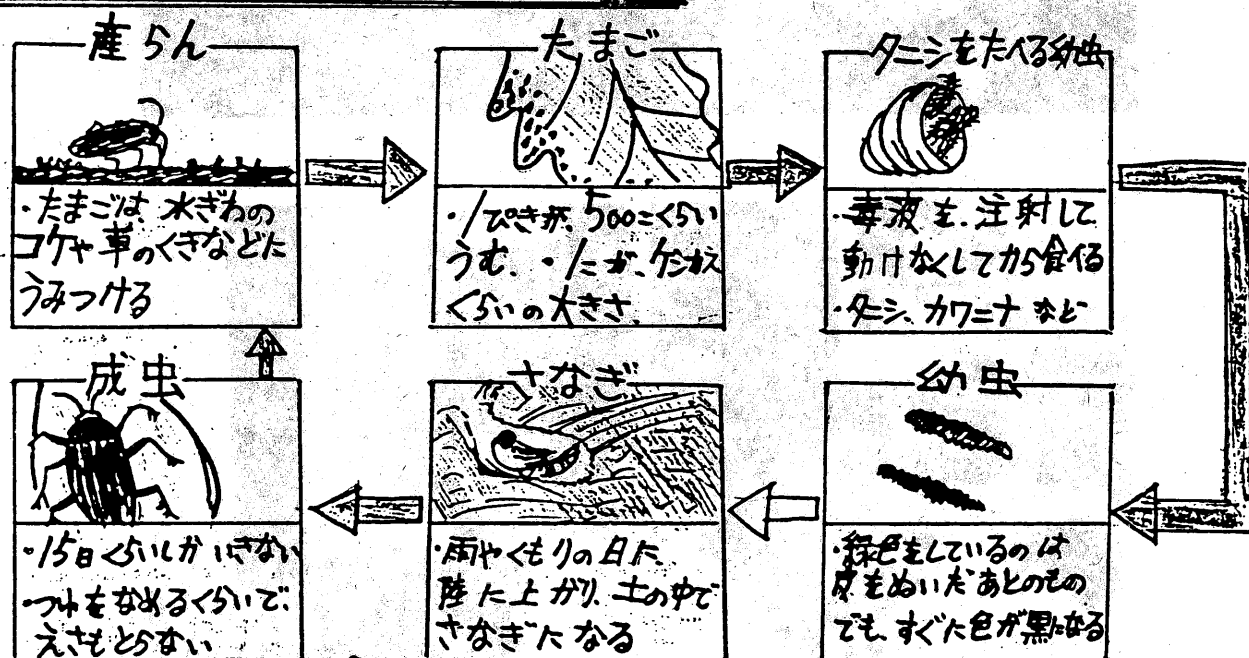


ヒメボタル

・高い山にすみ
・生水中生活をしていない
・カタツムリをたべる

環境パトロール

ゲンジボタルの一生



ゲンジボタルの光るころ



あやかし屋
さしやう
7/21 ~ 8/2
TOCHI IZUMI

ホタル・セミ・カゲムシ

夏っ こんちやう

おっ
本番です



カゲムシは
何処に？
おっ 本番です



ホタル
ホタルの場所？



- その1. 土のうのちとに
- その2. あたまとほの
あいたにじゅう
せんじがある

ゼミ

サワフ



- その1. たんぽのちとに
- その2. あたまとほのあいたに
いちせんじがある



ミミイセミに

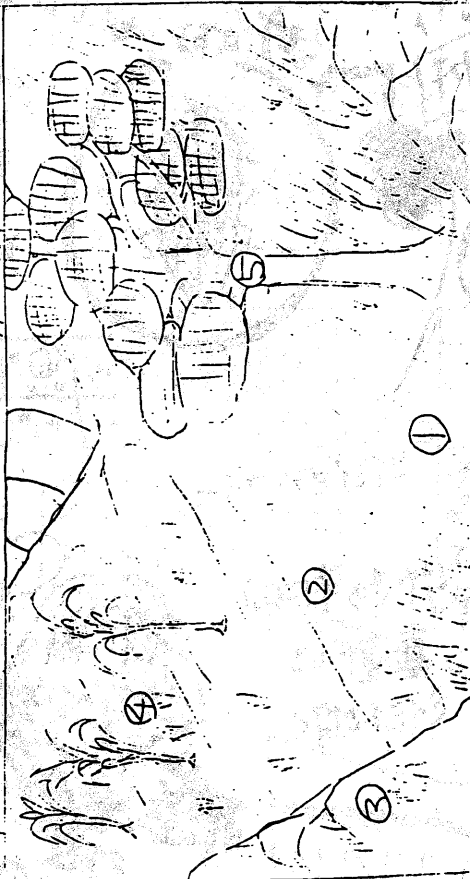
カゲムシには
真直に
ミミイとなく



今回のこと、とても、虫にきょう
を捕まかな？ と思います。
いっしょに夏の虫を見たいので
りやにする セミのちきんも、
けこうす、もしうと
思いました!!

齒頰

採集場所	見ることのできる昆虫類
1 草原	バタ、コオロギ、カマキリ、カメムシ、コガネムシ、ゾウムシ、アゲハバタ、テントウムシ、キリギリス、ハナジ
2 あり地、道	ハナミョウ、ショウリウハバタ、クサシロバタ、オオアゲハバタ
3 谷川せいの川	ハナミョウ、コハナバタ、キマダラバタ
4 畑と果樹	サシガメ、アゲハムシ、テントウムシ、ハナバエ、コバエ、スズメバタ、ツマギロコバエ、ウリハムシ、テントウムシ
5 木立	アゲハバタ、ミハナバタ、ミハナバタ、ミハナバタ



ツマゴロオオヨコバ	昆虫	食草	食草
	イナガ	カキ、サワラ	フキ、ワズ、その他
	ウリハシ	カハシ、ウリ類、ウリ類	ヤナギ類
	ウコバ	マ、ウリ、ウド、その他	ワズ
	マコバ	ウド、ヤナギ、その他	サシガメ
	キア	ウリ、ヒツリ、ニジシ	
	アコバ	ササ、ワ、サワラ、その他	
	キア	ササ、ワ、サワラ、その他	

果樹に害を加ふる

昆虫と食草

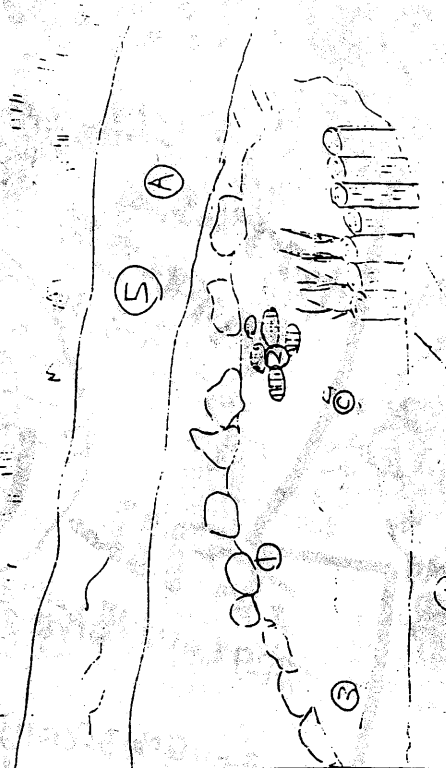
果樹被害を加ふる

食虫針

アノチノチをのて

7/24/16 10:00 AM

	見るこゝの昆蟲類
1 水面上	ギンヤンマ、ウチワヤンマ、コシアキトンボ、 チャウトボ、シオカラトンボ
2 水草	モノサシトンボ、キイトンボ、初イハムシ
3 水面	ミズヌマシ、アメンボ
4 水中	各種小虫、ミズカマキリ、マツモムシ、ゲンゴロウ
5 近くの川	ヘナボタル、トビケラ、カワゲラ、カゲロウ



ハグロトンボ	オニヤンマ	カハルホシヤンマ
④	⑤	
小川に多く見られる		

池の中の朽木に産卵した



水におちた二んちりニタナへる

3. メンバーの感想

(帰山 武昭)

この環境パトロールで、環境は自分たちで守らなければだんだん悪くなることがわかりました。その結果行われたクリーンアップ作戦などをもっと行って身の周りの環境を守らなければならないと思います。

(加川 達也)

環境パトロールについてとても勉強になった。クリーンアップ作戦では、空き缶をたくさん取れてよかったと思う。川の中の虫について良くわかった。今後、川の水を汚さないようにしようと思った。世界のみなさんや宇宙のみなさんにも、気をつけてほしいと思います。

(小林 孝浩)

環境パトロールでは、川に入ったりしておもしろかった。学校の授業でもこんなことをやったら絶対おもしろいと思う。これからは自然を大切に、ゴミは必ず決まった所に捨てるようにしよう。

(武田 直樹)

僕は夏休みのしばらくの間旅行に行っていたので、環境パトロールに出れませんでした。夏休みの間で環境パトロールに出たのは、最後のほうのたった1回でした。その日は何も出来なくて、そのまま帰りました。二学期が始まってから、しばらくして学校祭で発表することになっていたの、作業を始めました。僕は発表ではOHPかスライドの手伝いをしただけだったけれど、発表は成功しました。環境パトロールに入ってくっこうよかったと思いました。

(竹森 政人)

虫をさがすのは苦労した意外に上から見る川と下から川に入って見るのとではだいぶ違った。一つ一つの虫を調べるのは「こし」がいたくなかったけどこういうのが好きなのでたのしかった。さぼっていたときもあったけど良い体験だったと思う。最近つりを始めたので、足羽川については興味があった。

(細田 博之)

環境パトロールはつかれたけれど良かった。多く練習したのだからいい。でも文化祭で発表するとは思わなかった。だから始めのリハーサル

はいやだったが、何だかやっているうちによくなってきた。というよりやっているうちにおもしろくなってきた。発表の時うまく出来て良かった。

(宮本 春樹)

環境パトロールをとおして見て、どういう水生昆虫がどういう所にいるか分かった。クリーンアップ作戦も僕達がいかにこの地上を汚しているか初めてわからされた。これからもっとこういうことをして、地球をもっときれいにしようと思う。

(山崎 淳一)

楽しかった。僕は環境パトロールに入ってよかったと思う。水の中に入ると虫がいることが分かったし、川は汚してはいけないと思った。僕もこれからは川を汚さないようにしようと思う。足羽一中校の川はとてもきれいだということが分かったので、これからもきれいにしていきたいと思う。

(吉村 真吾)

クリーンアップ作戦はとてもつかれました。5km～6kmを歩いたからです。道にはタバコのかすや空き缶、空きビン、ゴミくずなどいっぱいゴミが落ちていました。なるべく通学路をきれいにしようと思って一生懸命にやりました。そのおかげでとてもきれいになりました。今、道はとてもきれいなのでゴミなどを一つも捨てないでほしいです。

4. 指導者の感想

1学期の授業の発展で、生徒達が地域の自然に目をむけた。5～6名のグループになり、地域環境がもっている様々な問題点を考えていった。ゴミ問題を考えた生徒、酸性雨を調査した生徒、植生を調べた生徒……。そして、このグループのように昆虫や動物について調べた生徒などいろいろだ。どれも実際に観察、実験をとおして自分達で調べ、考えたもので、遊びたい夏の期間に、大変だったろうと思われる。この活動をとおして、さらに地域環境を守らねばと、全体一体となって、ゴミ拾いを実施することになった。地域によっては6時30分に集まり、2時間以上の道のりを、ゴミ拾いしながら歩いてきたわけだが、楽しそうに活動している姿には感心させられました。この活動はこれからも続けていくと